



No.47

昭和47年1月25日発行
発行所 岐阜県加茂郡川辺町
編集 川辺町役場総務課
印刷 中部印刷株式会社

ぼくとわたしのドリームランド

楽しい未来への大きな夢をみんなもちましょう。明るい豊かな町
づくりのために。

新しい年によせて各小学校のみなさんに作文と絵によって「未来
の川辺町」をえがいていただきました。

こんななかわべちよう
になるといい

下麻生小一年　さえきよりひろ
ひだ川にかけていセンターがで
きて、そのかいていセンターには
いれるといい。

どうしてかと、うと、ぼくは川
のそこをみたことがない。それに
ぼくはむしや、さかながすきだ
から。およいでいるところや、た
まごをうむところや、すなにもぐ
るところや、さかなはどういうと
ころにいるか、かんさつしたいか
ら、そういうのがほしい。

プラスチックでどこやかみえる
ようなへやがいい。

それに、ロボットがぼくたちを
あんないしてくれて、上のところ
から、ひこうきがとぶような、か
いていセンターが、ほしいとおも
います。

公害のでない町に

川辺小三年　よこたあきら

交通じこのないしせつや、たい
いくかん、公園などを作って、み
らいの人々がのびのび
と生きていけるような
町になるといいなあ。
工場などを多く作
と公がいになるので工
場は少なくしてほしい
しかし、そのころは公
がいの出ないほうほう

がはっけんされているかもしませ
せん。けれど、けむりは人にがい
をあたえるので、工場はできるだ
け少ないほうがいいと思います。
遊び場も子どもが道路でないと
遊べないということにならないよ
うに、遊び場やグランドやテニス
コートなどのしせつを作つてほし
い。

学校、プール、公みんかん、図
書館、公園などみんなのためにな
るしせつをたくさん作つて、運動
をしたり、べんきょうが楽しくで
きるような川辺町ができるとい
なと思います。

未来のボート

レース場

川辺小四年　高谷晴夫

中学校のうらにボートレース場
があります。ぼくは、そこに白鳥
がすむようになって、岸には公園
ができたらしいと思います。
白鳥は秩父宮妃殿下をつうじて
ひとつがいが送られるそうです。
その白鳥が百ばぐらいになるま

未来の

で、公園ができる公園一面に美
しい花やしばぶがはえていたら、
どんなにすてきでしょう。

それに、ところど
ろにベンチがあり、木
が植えられて、白鳥の
白と、水の色と、木の
緑とでどんなにか美し
くなることでしょう



ミはやくこんなにならないかなあミ

川辺小4年 桜井 晃

中学校のおいさん、おねえさ
ん方も休み時間に白鳥やけしきを
見れば、きっと気分でんかんにな
り、勉強にもよいと思います。
国定公園に指定されるすばらし
い公園ができたら、ほんとうにい
いと思います。

日本一のそういう場
になるといい

私達の川辺町は、大変自然にめぐまれていて、なかでも飛騨川はボートレースをするのにとても適しているということだ。

この川を大いに利用して全国からお世話をしていた白鳥

川辺小五年 渡辺和子

ら多くの選手を招き、ボートレースを盛大に開くようにして、川辺町が全國に知れわたるような町にしたい。

そこには、高山線の電化複線を

交通で、川辺町内に地下鉄が通ればいいな。

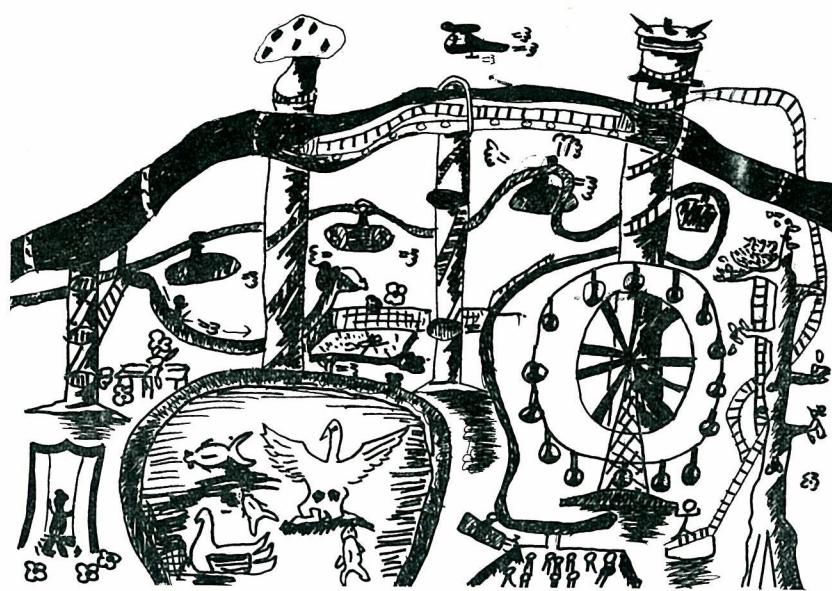
下麻生小五年 佐伯雅代

实现し国道四十一号線からレース場までの道を広くつくり、ボートを積んだ車の出入りを便利にする

ことだと思う。また、秩父妃殿下

からお世話をしていた白鳥

それは、自然でいつまでも、こ



ミ 子どもの国 ミ

川辺小4年 松川 勉

自然で公害のない
町を

を飛騨川一面にふやして船や川岸で遊ぶ人達が楽しんだり、ボートのレース場を日本一にして全国からたくさんの人達が訪れるような町にしたいと思う。

どこかの山を斜けて、ヘリポートを作ったり町のあちこちに高いビルディングが建ち並ぶようになつて、夜は明るいライトがあちこちに輝くような町にしたいと思



ミ 夢の花園 ミ

川辺小4年 平岡 忍



うがいがおこらなくて川の水はにごりけのない、すみきつたままではいいな。

山には、森林ものこされていて山の中からコーン、コーンと木を切る音がいつまでも、

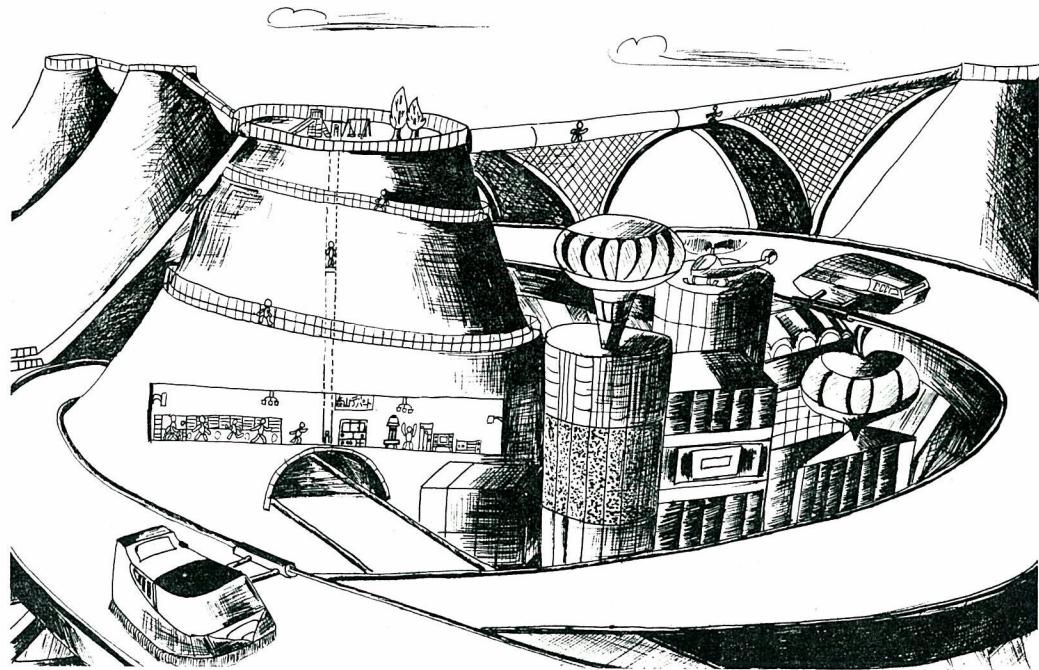
きこえていればいいな。それに小鳥の声がいつまでもきこえればいいな。

でも、きっとこの自然は、こわされてしまうだろう。

今までどおりの自然でいてほしいな。

“未来の交通機関”
ハイウェーがはしり、地下鉄がとおる。
山頂には遊園地があり、一望のもとに町を見渡すことができる。

下麻生小六年 河合範和



未来の駅、駅前は こんなふうに

下麻生小五年 村瀬聰子

今から約十年後、中川辺の駅、
そして駅前は大きく変わるでしょう。

駅のホームの屋根や橋は、鉄quinコンクリートになり、また橋のかいだんには、エスカレーターがとりつけられる。いくら乗りおくれそうになつても、その時間の切つぶを買えば、かならずまつていてくれる。

それに乗車けんは、今までどちがい、機械でお金を入れると、自動的に出るしくみをもち、かいさつ口へ行くと、また機械があり、そこに切つぶを入れると、しるしがつけられる。

川辺の駅前の横断歩道はなくなり、かわりに地下道ができる。そこは、自転車、歩行者などに分けられ、いつも安全にわたることができる。

中川辺の本町の方から来た車はいったん別の地下道から駅の広場にはいり、それから、信号を使って国道にはいり、走り出す。

まるい学校になると いいな

下麻生小五年 佐伯銳子

私たちが、おとなになるまでに小学校へ行くまでの地下道ができるといいな。

学校は、長方形なので、まるくなるといいみたい。

上の方は、まるいので屋根はない。もし雨がふつたりしたら、下

へ流れるようになります。前より道のよごれる心配がなくなるだろう

学校の運動場は、雨がふると外で遊べないし、どろどろになる。だから春、夏、秋は屋根を作つて冬は雪がふって遊べるから、屋根を開くように作る。

また、雨がふった場合は、しめるようにしておけばいい。

そして、運動場は土ではなくて運動場ぐらいのトランポリンを入れればいいなあつと思う。



まるい学校

下麻生小5年 土屋孝司

米田ふじ公園をつく りたい

上米田小六年 肥田祐子

米田ふじとまわりの山の頂上が広い平地になつていて、そこには遊園地、学校、映画館、ボーリング場などがある。

そこに行くには、階段もあるが十平方メートルくらいの広さのエレベーターで上がる。米田ふじの頂上には、タワーがあつて、それには、川辺町をいつきに見わ

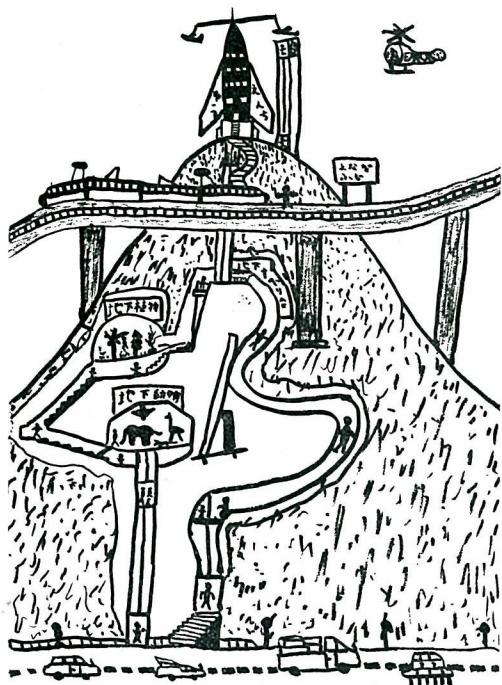
たすことができる。
学校は、円柱の形をしている十

階建てで、一階には体育館、二階には室内プールがある。

屋上では、サッカーができる。
運動場は、一周五百メートルあ

る。学校へは、ゴム製の上半分が透明な自動車で通う。
エンジンの音もないし、衝突してもどうにもならない。

こんな町になることを私は夢みている。



“米田ふじ公園”
モノレールが一周し、山の中ふくには地下の動植物園がある。

上米田小六年 加藤真二

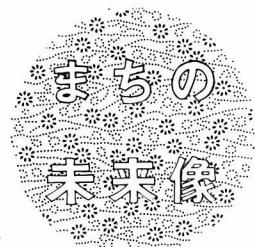
早くこんな川辺に

上米田小六年 小森明彦

ぼくの考える未来の川辺町とは山川橋は広くて、歩道もある橋となり、下を見ればボートがうかびこいが泳ぎ、上を見あげれば子どもの国があり、そこからロープウェイでつないだ米田ふじが見える。

橋を渡れば、りっぱなハイウェイ、車もいっぱい通る。が交通事故のおこらないよう、歩道と車道とが区別してある。

北へ進んでいくと、道の両側には整備された田や畑があり、その向いには住宅がたちならんでいる。そんな町を進んでいくと、今四つの小学校をまとめたすばらしい小学校が立っている。この町をかこむ道路は改良して立体式のすばらしい道となっている。
こんな川辺町になるかなあ。
ぼくが生きているうちに、すばらしい、ぼくの考えたような川辺町になってほしいと思う。



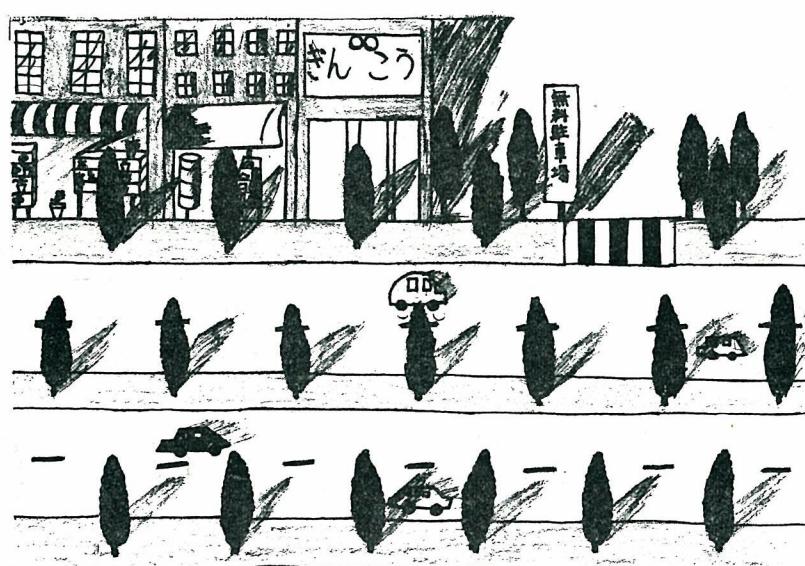
発達と自然の調和 した町に

川辺小六年 桜井泰子

私の育った町、川辺町。私はこの川辺町がつぎのような町になつてほしい。

上水道や都市ガスがひかれ、国道には歩道橋がかかる。
人々は、ゆっくりとワインドーリングを楽しむ。

飛騨川で行なわれるボートレースは、国際的になつてはなやかに開かれる。みやげ店にはボートトレースの絵や写真が売られ、だれもがみやげ店にたちよる。そして、その飛騨川には白鳥がうかび、にしきごいが泳ぐ。
船つき場は、一面しばぶが植えられ、ポプラが數本。
田畠は公園に変わり、人々のいこいの場となる。
こんな発達と自然とを両立させたい。



いままで田だったところをうめたてて道路を中心にして商店がいを開く広いちゅう車場もとる。道には、がいろじゅを植え、緑の町にする。

上米田小六年 土屋紀子

会一
計般

議会だより

十二月十八日から開会された第四回定期町議会は、会期七日間にわたり昭和四十六年度補正予算、ペース改正による給与関係条例および昭和四十五年度決算など審議決定しました。そのあらましは次のとおりです。

▽議会議員の報酬の改正
議長四万円、副議長三万五千円、
議員三万円（いずれも月額）にな

田長等俸給の統一と改正
町長十五万円、助役十二万三千円、収入役十万八千円、教育長九万八千円（いずれも月額）になりました。

▽一般職の職員の給与の改正
国家公務員、県職員に準じ平均五千二百九十円（九・八ゼロ）ベ一
スアップしました。

▽非常勤の特別職の報酬の改正
教育委員など非常勤の特別職の職員の報酬を次のように改正しました。

監査委員（月額）二千円、選舉
管理委員（年額）一万二千円、專
門委員（日額）千円、教育委員長
(月額) 四千円、教育委員(月額)
三千円、農業委員（月額）一千百
円、固定資産評価審査委員（日額）

▽一般会計の補正 昭和四十六年度一般会計は、歳入歳出それぞれ八百二十一万六千円を追加、総額は四億二千二百二十七万二千円になりました。補正のおもなものは「歳入」町税増収分六百五十九万円、地方交付税が算定基礎数値の変更により一千四百十二万六千円が減額、特別交付税五百万円が追加になりました。

国庫支出金の児童手当補助金百万円。県支出金は能田下水路補助金三百万円及び町道側溝改良補助百八十二万円。財産運用収入として予金利子二百万円、財政調整基金からの繰入九百万円、町債は上米田ブル建設事業債八百五十万円

千円、事務嘱託員（年額）一万五千円、農業共済運営委員（月額）千円、農業共済損害評価委員（年額）千円、農業共済連絡員（年額）千円、国民健康保険運営委員（日額）千円。

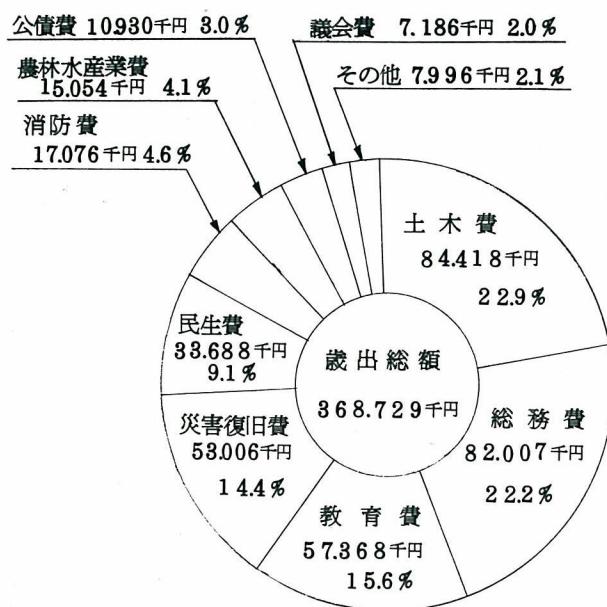
昭和四十六年度一般会計は、歳入歳出それぞれ八百二十一万六千円を追加、総額は四億二千二百二十七万二千円になりました。補正

のおもなものは「歳入」町税增收分六百五十九万円、地方交付税が算定基礎数値の変更により一千四百十二万六千円が減額、特別交付税五百八十万円が追加になりました。

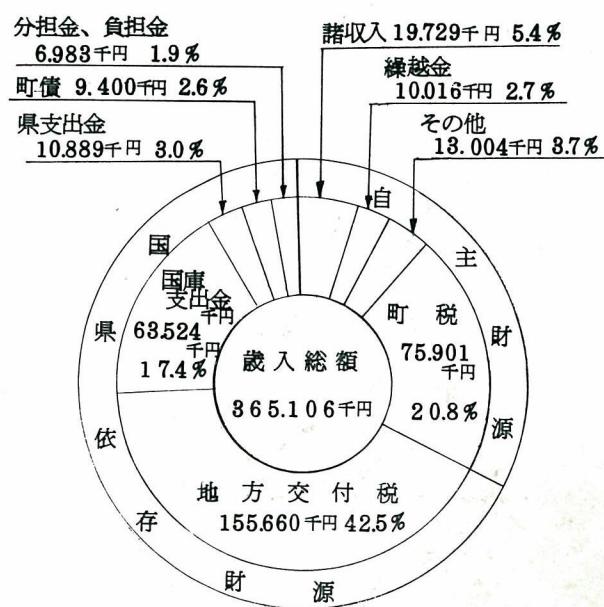
国庫支出金の児童手当補助金百万円。県支出金は能田下水路補助金三百萬円及び町道側溝改良補助百八十二萬円。財産運用収入として予金利子二百万円、財政調整基金からの繰入九百万円、町債は上米田ブル建設事業賃八百五十万円

歳出では、議会費の議員報酬改正分六十五万七千円。総務費は町務所修繕及び電話架設関係費六十二万円、選挙ポスター表彰記念品費五万円など。民生費では給料改正分九十五万九千円、児童手当百三十四万三千円、じんあい処理場負担金六十八万二千円。農村水産業費は給料改正分三十二万四千円、治山事業負担金十万円など。土木費では能田下水路工事二百八万三千円、同用地代十万円、天王町下水路関係給水費十万円、町當住宅ボンプ修繕費などに四十万円。消防費は可茂消防事務組合負担金十六万六千円。教育費は給料改正分百二万九千円。上米田小理科振興備品費四十八万円。川辺小学校備品購入八万円、など。災害復旧費は四十六年水害復旧事業費二百五十五万五千円、四十三年災害復旧事業費二百十五万円。

目的別歳出決算の状況



歳入決算の状況



自動車重量税のあらまし

稅務署

道路などの社会資本を充実するための財源として、新しく自動車重量税ができ、十二月一日から施行されております。この重量税のあらましを説明します。

税率

運事務所で検査を受けるときには、
また、届出軽自動車については陸
運事務所に使用の届出を受けると
きに、税額に相当する額の自動車
重量税印紙を納付書にはって、陸
運事務所の窓口に提出し納める。

自動車の区分や重量により次の
二つに分ります。

一、検査自動車のうち自動車検査証の有効期間が二年と定められているもの

自動車重量税は、道路運送車輛法の規定により、自動車検査を受ける自動車および使用の届出により車輛番号の指定を受ける軽自動車に対して、その重量に応じて税率がかかります。

添付して、新たに使用の届出をすることを条件として非課税とされています。

なお、原動機付自転車や小型特殊自動車のように、自動車検査や

届出の制度のないものは、自動車重量税の対象にはなりません。

か だれがどのようにして納めるの

自動車重量税の納税義務者は、
検査自動車や届出軽自動車の使用
者です。検査自動車については陸

感電事故防止について

中部電力から

電気による事故 の発生は過去十年間、二九五件にのぼり負傷者二十九名死亡者十名と尊い人命を失っています。近年、特に事故発生の多いのは建設用機械によるもの、また電線路付近での樹木の伐採、索道建設工作物への無断侵入塔および浸入、タコ、模型飛行機、投石等によるものであります。

このような事故をなくすため、皆さんに次のようなことを守つていただくなつて、ご協力をお願ひします。

の建設にあたつては、付近に電線が通つていなかを確めてください。あつた場合は、直ちにご連絡ください。安全に仕事ができるよう係員を現場に派遣いたします。

一、電線のある付近でのタコや模型飛行機をあげたり、鉄塔にのぼったり、発電所や変電所の棚の中に入ったり、電気設備に石を投げたり、支線にぶらさがったり、ゆすったりしないようご注意ください。

以上の事項にご留意賜り電気事故をなくし、明るい家庭と社会を築くため皆様により一層のご協力を強くお願ひします。

(+) 乗用自動車(二輪を除く)
イ、車両重量が○・五トン以下
ロ、車両重量が○・五トンをこえるもの……車両重量

三、届出軽自動車 円

十二月中の届け出

下吉田	石神	西柄井	下吉田	石神	西柄井
中川辺	馬場	桜井	中川辺	馬場	桜井
福島	由香	幸紀	福島	由香	幸紀
上川辺	井戸	直美	上川辺	井戸	直美
比久見	佐伯	均	比久見	佐伯	均
中川辺	山田	光彦	中川辺	山田	光彦
下吉田	尚美	豊久	下吉田	尚美	豊久
上川辺	西垣まゆみ	文則	上川辺	西垣まゆみ	文則
比久見	赤坂	浩	比久見	赤坂	浩
	坪内	忠敏		坪内	忠敏
	有本	国松		有本	国松
	幸芳	長男		幸芳	長男
	堀江	長女		堀江	長女
	千代	忠敏		千代	忠敏
	操	皆雄		操	皆雄
		長男			長男
		長男			長男
		三男			三男



社会にあかりともして20年

— 桑畠さんらに感謝状 —

民生委員として、多年にわたり町民のよき相談相手として町民の福祉の向上に貢献せられてこられました桑畠宮一さん、渡辺鉱三さん、加納伝一さん、井戸幹男さん、若井みさおさんの5の方々に、さる12月13日感謝状と記念品が贈られました。長い間どうもありがとうございました。

写真は 感謝状を受ける若井さん

これは、昨年暮
れクリスマス、パ
ーティーに参加し
た二十八人の皆さ
んがそれぞれ会費
の一部を出し、あつ
て、集まつたもの
で、皆さんがあた
たかい善意に心か
ら感謝するとも
に、ご意志にそ
べき使わせていた
だきました。

「これは、ほんの少しおじさ
んたちのきもちですが受けとつ
ください。先生、おとうさん、お
かあさんのいうことをよく聞いて
交通事故にはじゅぶん気をつけ

よい子たちが
「毎日、たいへんご苦労さまで
す。からだに気をつけてがんばっ
トが届きました。
これは、昨年の勤労感謝の日に
よい子たちが
「毎日、たいへんご苦労さまで
す。からだに気をつけてがんばっ
トが届きました。
これは、ほんの少しおじさ
んたちのきもちですが受けとつ
ください。先生、おとうさん、お
かあさんのいうことをよく聞いて
交通事故にはじゅぶん気をつけ

…心あたゝまる善行あれこれ…
よい子たちへ
プレゼント
第二保育園
て元気に学校へ行けるようにして
ください。
十二月二十三日、川辺郵便局よ
り、こんな一通の手紙とともに第
二保育園にクリスマス、プレゼン
トが届きました。

「これは、ほんの少しおじさ
んたちのきもちですが受けとつ
ください。先生、おとうさん、お
かあさんのいうことをよく聞いて
交通事故にはじゅぶん気をつけ

てくださいね。」そんなささやか
な願いから、それぞれまごころの
こもった品物をおくつたところ、
その善意に感謝していただいたも
のです。よい子たちは、おお喜びでいた
だいたプレゼントを手にしながら
通安全運動に役立ててください」と、二千三百円を町に寄託されま
した。郵便局のおじさん達、どうもあ
りがとうございました。

中部中生徒の善意
中部中学校二年一組の田原義之君ら四十三人から、昨年暮れ「交通安全運動に役立ててください」と、二千三百円を町に寄託されました。同クラスでは、昨年七月ごろ、交通遺児を守る会と日本郵便友の会主催の友愛ハガキ運動に参加し送られたところ、交通安全費として届いたもので、それに加えて、さ
らに交通安全を祈って募金しよう
と呼びかけ、集まつたものです。町では、このご意志にそくべくさつそく交通安全対策に役立てる

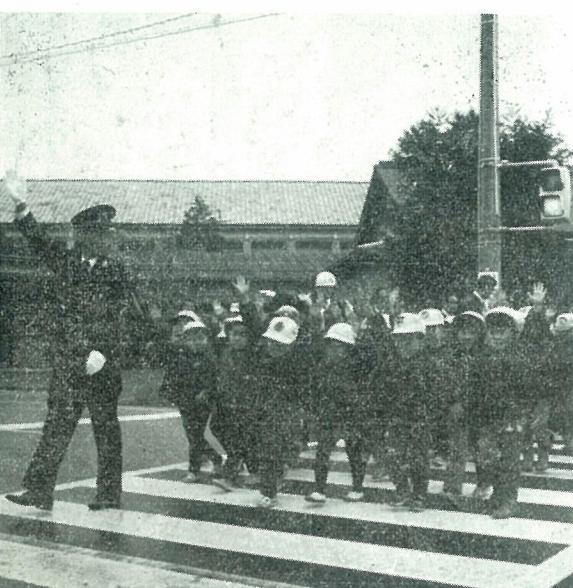
年末にひろつた明るい話題

交通遺児にと 一万円を寄託

押ボタン式の信号機が完成 中川辺地内国道横断歩道に

さる十一日、川辺派出所前の国道横断歩道に押ボタン式の信号機が完成し、その点灯式をおこないました。

激増する交通量にともない、駅前の信号機とならんで通勤者や保育園の児童らの利用にとって大きな効果を表わしております。



横断歩道、手をあげてわたりましょう

新しく成人を迎えたみなさ
ん、おめでとうございます。
二十歳になると、法律的にも社会的にも成人として認められるとともに、権利が与えられ義務が課せられます。選挙権が与えられるなどそのひとつですが、もうひとつ忘れてならないことは、国民年金は、毎月保険料をかけておいて、将来やってくる老齢、

金に加入する義務ができたことですか。つまり、二十歳になると厚生年金や各種の共済組合など、おおやけの年金制度に加入していない人は、国民年金に必ず加入しなければなりません。

死亡、廃疾といった生活の不安に対する、みんなでまもっていく社会保障のひとつです。